

「全国に誇れる御成門中学校を創る」—世界に発信する—

令和元年 9月2日 発行

第 5 号

発行責任者

港区立御成門中学校

校長 佐藤 太



御成門だより

教育目標 「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」

〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話 03-3436-3551 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-tyky.ed.jp

夏の思い出

校長 佐藤 太

9月(長月)。夏休みが終わり、2学期が始まりました。生徒の皆さんは、この夏休みをどのように過ごしましたか。部活動や大会、習い事、進路に向けた学習、地域行事、旅行、読書、スポーツ・文化的活動、など、多くの体験や活動に取り組み、有意義な日々を送っていたことと思います。

私は、御成門中学校が50周年ということもあり、この夏は数日間をかけて、学校付近の地域を巡りました。学区域一帯は、歴史に登場する人物、出来事などが実に多くあり、訪ね回りながら驚いたり、感心したり、家に戻ってからも関連した書物や小説などを読みながらの日々を送りました。

御成門中学校の前身の北芝中学校や愛宕中学校が、かつては芝公園内4号地にあったことを知り、芝公園や増上寺も何度か足を運び、いろいろな想いを巡らせました。芝公園には、都内最大の「芝丸山古墳」もあり、夏日でも木陰を通る風が心地よかったことを覚えています。先週、私は人気上映中の「天気の子」を観ましたが、このアニメ映画の中で、芝公園が舞台となって、主人公たちが大事な人の思いを叶えて楽しく時間を過ごす場面があり、何か不思議な気持ちになりました。また、北芝中学校が芝公園内4号地に建つ前は、虎ノ門にあった旧軀絵(ともえ)小学校内であったことを知り、訪ねてみました。軀絵小学校は、日本最初の公立小学校であり、御成門という地域は今も昔も教育に熱心で先進的な地域だと感じました。さて軀絵小学校の跡地には、現在、気象庁と連携した港区立科学館が建設され、来年度からその科学館を訪れての理科学習の一部も始まるのです。

愛宕神社にも足を運びました。神社へ通じる石段は、出世の階段(由来は各自調べてみてください)と言われるためか、サラリーマンがお参りをしていました。そもそも愛宕神社は、徳川家康が江戸の町を火事から守るために火の神をまつてできた神社で、歴史上の史実や逸話多くあります。江戸幕末、大老井伊直弼が襲撃される桜田門外の変では、水戸藩・薩摩藩浪士の一行がこの愛宕神社に集まって祈願をした後、江戸城桜田門へと向かった事実があります。そして、この事件をきっかけに幕府の威信は衰えます。明治維新を迎える段階で、官軍の西郷隆盛と旧幕軍の勝海舟が「江戸城開城」の会談を前に、愛宕神社の山から多くの市民が住む江戸の町並みを見下ろして、二人が「江戸を戦場にしてはならない」と思いあったという逸話もあります。

他にも学区域の神社を巡りました。江戸時代前は愛宕山より南は海だったので、今の新橋5丁目の塩竈(しおがま)神社や虎ノ門2丁目の金刀比羅宮は航海・漁業の神、飲食街で賑やかな新橋駅近くの烏森神社は穀物・食物・芸能の神、都心として発展し続けている浜松町・大門の地にあつて歴史ある芝大神宮は、日本最貴神の天照大御神(太陽神)が祭られているなど、それぞれ神社の成立や機縁を知り、なる程とうなずいたりしました。

「神明いきいきプラザ」の辺りを歩くと「学問のスズメ」を著した福沢諭吉(慶應大学の創立者)が開いた「慶應義塾」の石碑があり、慶應義塾の前身がこの地にあつたということを知りました。地域を巡り、頭の中で過去と現代の時間を行ったり来たりしながら、今の私達の生活や御成門中学校、そして、先の未来を考える夏になりました。

皆さんの夏休みの思い出も各人それぞれだと思いますが、夏休みに経験したことや積み重ねたことを生かしながら、2学期も御成門中生として、新たな気持ちで、目標をもち、前に進む努力を続けてください。中間テスト、後期専門委員会、区水泳大会、区連体、合唱コンクール、周年式典と続きます。タブレットの学習も始まります。

ぜひ、仲間と共に励みながら、実りが多く、成長していけるように、元気に学校生活を送ってほしいと思います。



「天気の子」の芝公園



芝丸古墳から見た東京タワー



愛宕神社の境内



慶應義塾の前身の塾